

岐阜県立飛騨特別支援学校高山日赤分校

学校長 安藤 邦寿
学校住所 高山市天満町3丁目41-1 電話 0577-34-3637

- 1 会議の名称 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成 委員 塩谷 雅 花里校下まちづくり協議会 会長
三川 賢悟 高山市福祉サービス公社 支援課長
谷倉 祐二 飛騨子ども相談センター 家庭支援課長
中西 直子 高山日赤分校卒業生保護者
三木 涼子 高山赤十字病院 第一病棟3階看護師長
(委員名は五十音順)
- 学校側 安藤 邦寿 校長
竹田万里子 副校長
森川 雅子 事務部長
長瀬美智代 部主事
- 3 会議の目的 開かれた活力ある学校づくりを目的として、地域住民や有識者等から学校運営に関して幅広く意見を聞くために学校評議員を置き、会を開催する。
- 4 会議の開催 令和元年6月12日(水) 10:00~11:30 高山日赤分校プレイルーム
委員5人と学校側4人が出席
- 5 会議の概要

(1) テーマ 学校の教育活動について

- 意見 1 個別に一人一人の特性に合った対応をしており、とてもよい。
- 意見 2 子どもたちの力や可能性を引き出すよう、創意工夫をされていて児童生徒が楽しそうである。

(2) テーマ 地域・関係機関とのかかわりについて

- 意見 1 いろいろな課題を抱えているだろう児童生徒が、良い表情で学習している。この学校の良さをもっと地域に知ってもらおうと良い。
- 意見 2 40周年になるとのこと。周りの皆さんに知ってもらおうよう、地域との交流を図る手助けができたらと思っている。
- 意見 3 まちづくり協議会の発信ツールが使えるが、使うとすればどの範囲までに発信するのかを一緒に考えたい。
- 意見 4 合同カンファレンスで、学校での日々の様子を知ることができ、病院での次の診察、治療に生かしている。こうした連携を今後も続けていけると良い。また、児童生徒が入院したときには、病院と看護講師との連携が図れると、退院後の学校生活に生かせるのではないか。

(3) テーマ 進路について

- 意見 1 高等部ができ、中学部卒業後の進路の選択肢が増えたことは良かった。本校は、卒業生の保護者も多く、在学中に色々と聞く機会が多いが、分校は昨年度はじめて高等部の卒業生が出たばかりで、保護者は卒業後のイメージがつかみにくいと思う。
- 意見 2 小ぢんまりとした学校で、卒業後の集団の生活戸惑うこともあるかもしれない。個別の対応によってついた力が、社会で生きることもあると思う。

6 会議のまとめ

進路については、これから情報収集や開拓が必要である。学校のことを積極的に考えている人のさらにもう一回り外にいる人たちに働きかけていくことが必要である。関係機関と関わって、さらに地域の学校となるような努力をしていく。